



令和元年度 学校だより

学校ホームページ <http://minamisyo.nagaizumi.ed.jp/>

みなみっ子

長泉町立南小学校

No. 29

令和元年9月20日

学校教育目標 「夢のある子」～めあてをもってがんばる子～

食に関する学級活動…給食センターの先生を迎えて

給食は残さず食べられる児童がほとんどですが、野菜嫌いの子もぼつぼつ見られるのがみなみっ子の現実です。健康指導部そして養護教諭を中心として「苦手でも半分は食べよう」「食べられる量を決めて食べよう」と指導を続けています。学校は、子どもたちが多くのことを学ぶ学び舎ではありますが、毎日バランスの良い食事を継続し、健康な身体を作っていくところでもあります。小学校6年間で食する給食は、なんと約1100食。この食事を確実にとっていくことが、子どもたちの身体だけでなく、学習にも心の発達にも大きな好影響を与えます。



鈴木先生と伝え合いながら、楽しく授業が進みます。

今回、4年生が長泉町学校給食センターの栄養教諭、鈴木先生をゲストティーチャーとして迎えて、毎日食べている給食が**栄養のバランス**に優れた食事になっていることを再確認しました。



これは「赤」でしょ！

鈴木先生は「食べ物は、大きく黄、赤、緑に分かれています。」と話すと、それ以後は**子どもたちの発表を一つ一つ聞きながら**授業を進めていました。「黄がエネルギーのもとになるもの」「赤が体を作っているもの」「緑が体の調子をととのえるもの」を確認し鈴木先生が子どもたちにカードを分け始めました。実際の給食に使われている食材です。

子どもたちは、班の仲間同士で、カードを「これはこっち！」「いや、これは緑だよ！」などと言いながら並べていました。18日(水)の授業では「はるさめ」、19日(木)の授業では「ひじき」をどこのグループに入れるか迷っている班が多かったです。授業の感想カードには、「**バランスよく食べたいです**」「3色の食べ物をしっかり食べたいです」などの言葉に加え、「揚げパンを増やしてください」「わたしの好きなものは、**リンゴロールパンです**」などと給食センターへの要望も目立ちました。

毎日の給食について振り返った4年生。給食を好き嫌いで残していると、栄養のバランスが崩れてしまうことが学びました。しっかり食べて、さらにたくましくなれ！みなみっ子！

オリンピックイヤーに向けて、6・7組が大作づくりスタート！

6・7組がブルーシートの上に、畳6畳くらいはありそうな紙を敷いて大作の制作に取り掛かりました。場所は**プールサイド**。様々な色をプラスチックコップに入れて優しくこぼしたり、強く叩きつけたりしながら、「しぶき」で模様をつけています。なるほど、たくさんの色が飛び散るのでプールサイドで活動するのですね。



力強くパシヤ！



優しくペチヨ！

最初は**ポトン**とこぼすような色付けから始めた6・7組のみんなですが、途中からは上に書いたように力強く色を拡げていくだけでなく、自分の身体に絵具をつけ、**独特の線や色の塊**を紙の上に表現していました。作業後は、7組のみんなの身体はほとんどきれいな状態でしたが、6組の元気っ子たちはたくさんの絵具が身体についていたそうです。そのくらい楽しかったのでしょうかね！

このたくさんの色が広がった大きな紙。これは作品(オリンピックがテーマ)の背景になるそうです。どんな作品が出来上がっていくのか、とっても楽しみです。